



2022年(令和4年)  
1月18日  
火曜日

発行所  
中部経済新聞社  
〒450-8561  
名古屋市中村区  
名駅4-4-10

編集局 052(561)5212  
読者開拓局 052(561)5216  
広告部 052(561)5213  
事業部 052(561)5675  
総務部 052(561)5215  
東京支社 03(3572)3601

©中部経済新聞社2022

購読のお申し込み  
☎0120・605・123

# 環境対応を強化

## 「新ビル 桜館」 全量CO<sub>2</sub>フリー電力に

### 名古屋ビルディング

オフィスや複合ビル賃貸業務などを手掛ける名古屋ビルディング(本社名古屋市中区、赤澤由英社長は、環境対応を強化する。名駅地区で建設中の新ビル(名古屋市中村区名駅4の2の25)の全館(共用部と専有部)で、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)フリー電力を全量供給する。大規模水害対策では、中央監視システムを1階床面よりかさ上げするなど、防災機能をもう一段高める。企業の環境意識の高まりやBCP(事業継続計画)対策のニーズに応える。4月の供用開始を目指す。

(菊地治滋)

建設中の新ビルの名称を、「名古屋ビルディング桜館」に決めた。名古屋駅前前の桜通に面し、地下鉄桜通線・国際センター駅から徒歩2分の場所に位置する。地上12階建て地下1階延べ床面積1万1335平方メートル。ビルの外観は、名古屋

屋敷前にある同社の「名古屋ビルディング」と統一感を持たせ、幕開けをイメージしたドレープ状のデザインとなっている。敷地内には、シンボルツリーとして、大島桜を植える予定だ。エントランスホールは、縦横の木材が緩やかなカーブを描く内装とした。愛知県東栄町産のスギの無垢材(むく)を使用し、オフィス街の中に木のぬくもりを届ける。愛知県の「2021年度木の香る都市づくり事業補助金」の対象事業として採択されている。

CO<sub>2</sub>フリー電力の購入契約は、中部電力グループの中部電力ミライズ(本社は名古屋市)と結んだ。CO<sub>2</sub>排出量削減とともに、再生可能エネルギーの普及・拡大に貢献する。



エントランスの天井と壁面には愛知県東栄町産のスギ材を使用する



建設中の新ビル名は「名古屋ビルディング桜館」に決めた

防災機能も高めている。地震の揺れを吸収する粘弾性制震ダンパーをビルの各所に配置するほか、水害対策として、建物出入り口に起伏式の防水板を設置する。主要設備は屋上に設置し、中央監視システムなどは1階床面より3階かさあげする。72時間分の非常用発電とオイルタンクを確保し、企業の中核機能を守る。環境への配慮や防災機能に加え、ビジネスに応じた自由度の高いレイアウト構造など、オフィスワークのニーズは多様化している。名古屋ビルディングは時代的ニーズに対応しながら、より魅力的な都市空間の創造に力を入れる方針だ。